

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ポラテクノ  
 コード番号 4239 URL <http://www.polatechno.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 崎玉 克彦

TEL 0255-78-4700

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	6,154	△0.9	1,453	25.4	1,374	7.4	966	22.0
26年3月期第1四半期	6,209	—	1,159	—	1,279	—	791	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 793百万円 (△68.6%) 26年3月期第1四半期 2,531百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	23.30	22.94
26年3月期第1四半期	19.10	18.54

(注) 26年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	33,070	27,647	83.3
26年3月期	32,899	27,011	81.8

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 27,542百万円 26年3月期 26,906百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	6.25	—	7.75	14.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	2.7	2,750	5.8	2,750	△0.8	1,800	2.9	43.42
通期	26,000	4.7	5,500	7.2	5,500	6.1	3,600	10.4	86.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	41,450,000 株	26年3月期	41,450,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	77 株	26年3月期	77 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	41,449,923 株	26年3月期1Q	41,449,923 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国は緩やかに回復し、欧州は持ち直している一方で、中国の成長が緩やかになり、一部の新興国では成長に弱さがみられるなど、不透明感もありました。日本経済は緩やかな回復傾向が続いた一方で、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による弱さも見られました。

このような環境の中、当社グループでは、グローバルかつ変化の大きい事業環境においても、継続的に成長できる収益体質を実現すべく、新製品の開発、新規市場の拡大、コストダウンを推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は61億54百万円（前年同四半期比0.9%減）、営業利益は14億53百万円（前年同四半期比25.4%増）、経常利益は13億74百万円（前年同四半期比7.4%増）、四半期純利益は9億66百万円（前年同四半期比22.0%増）となりました。

セグメント別では、光学フィルム事業におきましては、産業用や車載用LCDパネル向けの偏光フィルムや楕円偏光フィルムの出荷が伸びましたが、サングラス用素膜や温度追従型楕円偏光フィルムの出荷が減少し、光学フィルム事業全体では売上高が微減となりました。

精密部品事業におきましては、無機偏光板ProFluxについては通常の液晶プロジェクター向けの出荷が伸びた一方、デジタルシネマ等の事業用は低調でした。また、X線分析装置部材については出荷が堅調で、精密部品事業全体では売上高が微減となりました。

利益面におきましては、内製化等により生産コストの削減が進んだことや、償却費が減少したことにより増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億70百万円増加し、330億70百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加4億31百万円、受取手形及び売掛金の増加1億62百万円、有価証券の減少1億67百万円、商品及び製品の増加1億82百万円、有形固定資産の減少1億31百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ4億65百万円減少し、54億22百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加1億77百万円、未払法人税等の減少5億61百万円、賞与引当金の増加1億75百万円、退職給付に係る負債の減少2億59百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ6億35百万円増加し、276億47百万円となりました。主な要因は、四半期純利益9億66百万円、株主配当金の支払による減少3億21百万円、為替換算調整勘定の減少1億81百万円、退職給付会計の会計基準変更に係る期首利益剰余金の増加1億65百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は予測の範囲内で推移しており、平成26年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想の修正が必要になった場合には速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

##### (在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用については、従来、在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は、近年在外子会社における収益及び費用の重要性が増しており、今後もその傾向が継続すると見込まれる中、期末時点で受ける一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を排除し、会計年度を通じて発生する損益をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。この変更に伴い、前年四半期及び前連結会計年度については、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の売上高は8百万円、営業利益は3百万円、経常利益は1百万円、四半期純利益は1百万円増加しております。また、利益剰余金の前期首残高は2百万円増加し、為替換算調整勘定の前期首残高が2百万円減少しております。

##### (退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が2億56百万円減少し、利益剰余金が1億65百万円増加しております。また、損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,078,777	9,509,926
受取手形及び売掛金	5,363,932	5,526,585
有価証券	1,110,204	942,488
商品及び製品	1,751,449	1,934,328
仕掛品	1,588,343	1,530,930
原材料及び貯蔵品	2,293,645	2,201,103
その他	1,031,414	921,579
貸倒引当金	△27,803	△27,326
流動資産合計	22,189,963	22,539,616
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,137,655	4,044,855
機械装置及び運搬具(純額)	3,523,271	3,238,163
その他(純額)	1,901,163	2,147,896
有形固定資産合計	9,562,090	9,430,915
無形固定資産		
のれん	70,147	58,566
その他	814,957	781,031
無形固定資産合計	885,104	839,597
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	—	34
その他	262,523	259,944
投資その他の資産合計	262,523	259,979
固定資産合計	10,709,719	10,530,492
資産合計	32,899,682	33,070,108
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,135,165	2,312,203
1年内返済予定の長期借入金	275,000	275,000
未払法人税等	982,721	421,599
賞与引当金	350,170	525,342
役員賞与引当金	38,006	15,843
その他	953,416	977,174
流動負債合計	4,734,479	4,527,162
固定負債		
長期借入金	150,000	112,500
退職給付に係る負債	288,629	28,919
資産除去債務	25,812	25,584
その他	689,097	728,525
固定負債合計	1,153,539	895,529
負債合計	5,888,018	5,422,691

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,095,125	3,095,125
資本剰余金	2,761,941	2,761,941
利益剰余金	20,681,844	21,492,303
自己株式	△26	△26
株主資本合計	26,538,884	27,349,343
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	539,380	357,464
退職給付に係る調整累計額	△171,937	△163,927
その他の包括利益累計額合計	367,443	193,537
少数株主持分	105,335	104,535
純資産合計	27,011,663	27,647,417
負債純資産合計	32,899,682	33,070,108

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	6,209,957	6,154,798
売上原価	3,599,136	3,329,037
売上総利益	2,610,820	2,825,761
販売費及び一般管理費	1,451,182	1,371,865
営業利益	1,159,637	1,453,895
営業外収益		
受取利息	1,383	2,142
為替差益	111,858	—
その他	16,928	12,811
営業外収益合計	130,170	14,953
営業外費用		
支払利息	2,065	980
為替差損	—	93,422
その他	7,878	313
営業外費用合計	9,944	94,716
経常利益	1,279,864	1,374,132
特別利益		
固定資産売却益	18	—
持分変動利益	11,766	9,654
特別利益合計	11,784	9,654
特別損失		
固定資産除却損	8,216	615
特別損失合計	8,216	615
税金等調整前四半期純利益	1,283,432	1,383,172
法人税、住民税及び事業税	690,501	572,239
法人税等調整額	△203,048	△158,502
法人税等合計	487,452	413,737
少数株主損益調整前四半期純利益	795,979	969,434
少数株主利益	4,191	3,334
四半期純利益	791,788	966,100



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	795,979	969,434
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,735,076	△183,537
退職給付に係る調整額	—	8,009
その他の包括利益合計	1,735,076	△175,528
四半期包括利益	2,531,055	793,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,514,029	792,194
少数株主に係る四半期包括利益	17,026	1,711

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	光学フィルム 事業	精密部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,499,604	2,710,353	6,209,957	—	6,209,957
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68,146	—	68,146	△68,146	—
計	3,567,750	2,710,353	6,278,103	△68,146	6,209,957
セグメント利益	537,853	621,784	1,159,637	—	1,159,637

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	光学フィルム 事業	精密部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,461,669	2,693,129	6,154,798	—	6,154,798
セグメント間の内部売上高 又は振替高	57,728	—	57,728	△57,728	—
計	3,519,397	2,693,129	6,212,527	△57,728	6,154,798
セグメント利益	759,763	694,131	1,453,895	—	1,453,895

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。